

事前評価個表

整理番号	10
------	----

地域（地区）名	わかさ 若狭	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福井県	対象市町村	つるが 敦賀市ほか5市町
事業実施期間	H30 ～ H34（5年間）	事業実施主体	市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、福井県南部の嶺南地域に位置し、敦賀市をはじめ2市4町から構成されている。当地区の北部は若狭湾、東部は越前森林計画区に、南部は滋賀県に、西部は京都府に面している。</p> <p>本計画区の森林面積は88千haで、総土地面積の80%を占めている。このうち民有林面積は80千ha（森林率91%）であり、スギを主とした人工林は31千ha（人工林率38%）となっている。</p> <p>また本計画区の林道延長は477km、林道密度は6.0m/haとなっているほか、森林作業道も整備されている。</p> <p>現在、本計画区の人工林については、間伐対象となるⅢ～Ⅻ齢級が24千ha（人工林の79%）を占め、資源が充実しつつある一方、所有規模が小さく、境界が不明確などの要因により、間伐等の森林施業が進まない地域も多い。</p> <p>本事業では、県産間伐材生産量の増加を図るとともに、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮され、災害に強い健全な森林づくりを推進するため、施業地の集約化や林内路網の整備を進め、搬出間伐等の森林施業を計画的かつ効率的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,420ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：5,000,000千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 2.94 (総便益(B) = 17,792,979千円、総費用(C) = 6,048,303千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の多面的機能の発揮や適正な保育管理の推進からみて必要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐の遅れた林分の解消や適切な保育管理の推進は災害に強い健全な森林づくりに有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 福井県

地域(地区)名: 若狭^{わかさ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,088,332	
	流域貯水便益	1,147,329	
	水質浄化便益	2,396,317	
土砂崩壊防止便益	土砂流出防止便益	3,632,162	
環境保全便益	炭素固定便益	4,521,418	
木材生産等便益	木材生産確保・造林便益	2,007,421	
総 便 益 (B)		17,792,979	
総 費 用 (C)		6,048,303	
費用便益比	$B \div C = \frac{17,792,979}{6,048,303} = 2.94$		

森林環境保全整備事業 若狭地域(福井県) 概要図

